

《履修上の留意事項》【遠隔授業と対面授業の併用】

《担当者名》○熊谷歌織 加藤依子

生命基礎科学：西 基 濱田淳一

実践基礎看護学：平 典子 明野伸次 福井純子 横川亜希子

成人看護学：唐津ふさ 熊谷歌織 神田直樹 高木由希 伊藤加奈子 前川真湖 清水博美

母子看護学：常田美和 木浪智佳子 遠藤紀美恵 加藤依子 嶋田あゆみ

地域保健看護学：山田律子 内ヶ島伸也 八木こずえ 宮地普子 中安隆志

工藤禎子 川添恵理子 明野聖子 御厩美登里

【概 要】

既習の諸学を通して得た知識を活用しながら看護実践を研究的視点で捉え、研究テーマに発展させる力を養うために、研究計画作成までの過程を学ぶ。

【学習目標】

1. 講義・演習ならびに看護学実習の体験から探求したい関心領域を見いだす。
2. 見いだした関心領域について、研究の可能性などを見極めて研究テーマを絞り込む。
3. 研究テーマに関連した文献を検討し、研究の目的を明らかにする。
4. 研究目的に適した研究方法を選択する。
5. 指定の構成内容や様式を満たした研究レポート（研究計画書）を作成する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	看護研究の意義と方法 (講義1)	看護研究の意義と課題 研究倫理	木浪智佳子
2	看護研究の意義と方法 (講義2)	研究論文の種類 研究過程の概観 研究計画書の作成	明野伸次
3	看護研究の意義と方法 (講義3)	研究論文の読み方	常田美和
4	看護研究の意義と方法 (講義4)	研究の実際	神田直樹 嶋田あゆみ
5) 6	看護研究の意義と方法 (講義5 / 演習)	文献検索の概略と具体的方法 (資料配付による自己学習)	熊谷歌織 加藤依子
7	オリエンテーション	配属講座の発表	熊谷歌織 加藤依子
8) 45	看護研究の実際	講座・研究部門ごとにゼミナール形式で卒業研究に取り組む	全担当教員

【評価方法】

- ・評価・単位認定は、各講座・研究部門の指導教員が行う。
- ・取り組みの姿勢、発表、レポートを総合的に評価する。

【備 考】

教科書：南裕子・野嶋佐由美編：看護における研究第2版，日本看護協会出版会，2017。

参考書：1)黒田裕子：黒田裕子の看護研究 step by step, 第4版, 医学書院, 2012.

2)ポ-リットD.F., ベックC.T., 近藤潤子(監訳)：看護研究 原理と方法, 第2版, 医学書院, 2010.

3)ブリックP.J., ウッドM.J., 小玉香津子・輪湖史子(訳)：看護研究計画書作成の基本ステップ, 日本看護協会出版会, 1999.

4)松木光子・小笠原知枝：これからの看護研究 - 基礎と応用, 第2版, 廣川書店, 2008.

5)横山美江編：よくわかる看護研究の進め方・まとめ方, 量的研究のエキスパートナーズをめざして, 第2版, 医歯薬出版, 2011.

- 6) グレグ美鈴編：よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 看護研究のエキスパートを目指して，医歯薬出版，2007.
- 7) 酒井聡樹著：これからレポート・卒論を書く若者のために，共立出版，2007.
- 8) 前田樹海著：臨床ナースから看護研究まで 研究発表のプレゼンもっとよくなります！，日本看護協会出版会，2016.
- 9) 井部俊子：看護師のための文章ノート，日本看護協会出版会，2018.
- 10) 小笠原喜康：新版 大学生のためのレポート・論文術，2009.

【学習の準備】

- ・ 前回の内容を復習した上で講義に臨むこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3, 1, 2, 4, 5

【学習の進め方・作成要領】

1. 学習の進め方

- 1) 看護研究の意義と方法に関する講義および演習を受ける。
- 2) 講座・研究部門ごとにゼミナール形式で卒業研究に取り組む。
なお、研究に要する費用はすべて自己負担とする。
- 3) 講座・研究部門ごとに発表会を行う。
- 4) 研究レポート(研究計画書)を提出する。
提出期限：2020年12月7日(月) 17:00(厳守)
提出先：学務部看護福祉学課

2. 作成要領

- 1) 卒業レポートの構成内容（参考例）
 - ・ 研究題目 ・ 序論（問題提起、研究の意義・背景、研究目的など） ・ 文献検討 ・ 方法論（概念枠組み、研究仮説、対象の選定方法、データの収集方法、測定用具、分析方法など） ・ 倫理的配慮 ・ 研究の限界 など
- 2) 作成様式
 - (1) フラットファイル（A4判、左横とじ、色はブルー）に、以下の順でとじる。
抄録、本文、謝辞、文献、図、表、資料
 - (2) 下の図を参考に、フラットファイルには表紙をつける。
 - (3) 抄録は、800字程度とする。
 - (4) 書式は、下記に従う。
A4判用紙 35字×28行 10枚程度
余白は、上下30mm、左35mm、右20mm

【実務経験】

看護師、保健師、助産師等の資格を有する教員が指導にあたる。

【実務経験を活かした教育内容】

医療現場での実務経験を活かし、看護実践を研究的視点で捉えた研究テーマを探求し、実行可能性のある研究計画書の作成するための教育を行う。

【表紙作成様式】

研究題目 指導講座・研究部門 指導教員 提出年月日 学籍番号 学生氏名
